

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部子育て支援課		■担当係	保育係
■評価事業名称	地域子育て支援センター事業			
■事業開始年度	平成11年度			
■評価事業コード	400700 - 023	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	01 子育て環境の充実		
	■施策	03 地域における子育て支援の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	地域子育て支援センター事業実施要綱			
■関連計画の名称	子ども・子育て支援事業計画			
■事業の目的と概要	育児についての相談指導等を行うことにより、家庭における子育てを支援することを目的とする。親子で遊べるスペースの提供(あそびの広場)、園庭開放、育児相談、育児講座、子育てサークル支援等。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
01	大通り保育園地域子育て支援センター事業	就学前児童及びその保護者	利用延べ児童数5,500人(4,850世帯)	利用延べ児童数4,987人(4,257世帯)
02	江釣子保育園地域子育て支援センター事業	就学前児童及びその保護者	利用延べ児童数2,500人(2020世帯)	利用延べ児童数2,312人(2,089世帯)
03	地域子育て支援センター事業(委託)	親子	おにやなぎ延べ1850人(1630世帯)ときわだい延べ5,540人(2,460世帯)	おにやなぎ延べ3,083人(1,475世帯)ときわだい延べ4,162人(1,876世帯)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	21,577	21,590	20,051	15,322	
人件費	8,626	6,921	7,447	14,216	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	30,203	28,511	27,498	29,538	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	育児講座開催回数、園庭開放開催回数、遊びの広場開催回数 子育て喫茶開催回数	593日	593日	593日	593日	大通り、江釣子支援センター各事業実施日数
03	年間延育児講座、園庭開放、遊びの広場利用保護者及び児童数	7,522組	8,289組	6,981組	6,346組	大通り、江釣子支援センターの延利用世帯数の計
04	広場開放等1日当たりコスト	50.9千円	48.1千円	46.4千円	49.8千円	フルコスト/事業実施日数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

☐ A. 順調

☒ B. 概ね順調

☐ C. 遅れている

達成状況の分析

平成28年度は全4か所で前年比の利用者が減少した。

問題点・課題等

平成28年度は利用者が減少したが、保留児童(保育園に入所できない児童)が減らない中で、今後どのような方向性で進めていくべきか見直すべき段階になりつつある。

1. 直接的な受益者の範囲

☐ 不特定多数に及ぶ

☐ 特定されるが多数に及ぶ

☒ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

☒ 大きな不利益やリスクが生じる

☐ ある程度の不利益やリスクが生じる

☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

☒ 類似の事業はない

☐ 類似の事業はあるが競合はない

☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

☒ ニーズが高まっている

☐ ニーズは変わらない

☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

☒ 順位が高い

☐ 順位が中程度

☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

☒ 順位が高い

☐ 順位が中程度

☐ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

☐ 先進的またはユニークな事業である

☐ 他と同程度の事業である

☒ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

☐ 民間委託等の拡充は難しい

☒ 民間委託等の拡充が十分に可能

☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

☐ 今以上の効率化や改善は難しい

☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能

☐ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

子育て世帯のニーズが多様化する中、土日の運営や入りやすい環境づくりが求められている。

■今後の方向性

☒ I. 拡充

☐ II. 継続

☐ III. 縮小

☐ IV. 廃止・休止

☐ V. 完了